

- 1945年(昭和20年) 東京生まれ  
1968年(昭和43年) 早稲田大学政経学部卒  
同年 読売新聞大阪本社入社、徳島支局勤務  
1970年(昭和45年) 大阪本社社会部勤務、警察担当  
1972年(昭和47年) 大阪府警捜査一課担当  
1980年(昭和55年) 朝刊社会面コラム『窓』欄担当  
以後7年間にわたって『窓』欄を担当  
1987年(昭和62年) 読売新聞社を退社後、大阪に事務所を設けて  
ジャーナリズム活動を展開している

■主な出演番組

- テレビ朝日系列「スーパーJチャンネル」(月曜・火曜・水曜・午後4時50分)  
文化放送「くにまるジャパン極」(月曜・午前9時)  
TBS系列「ひるおび」(2部)(火曜・午前11時55分)  
名古屋テレビ「ドデスカ!」(木曜・午前6時)  
朝日放送「キャスト」(木曜・午後4時58分)  
東海テレビ「みんなのニュースOne」(金曜・午後4時49分)

■主な著書(共著を含む)

- 「事件記者という生き方」(平凡社)  
「権力にダマされないための事件ニュースの見方」(河出書房新社)  
「冤罪の恐怖」(ソフトバンククリエイティブ)  
「法か、掟か」(ゴマ文庫)  
「監視カメラは何を見ているのか」(角川新書)  
「警察幹部を逮捕せよ!-泥沼の裏金作り」(旬報社)  
「殺人率-日本人は殺人ができない!-」(太田出版)  
「死体は語る 現場は語る」(アスコム)  
「権力犯罪」(旬報社)  
「日本警察の正体」(日本文芸社)  
「グリコ・森永事件~最重要参考人M」(幻冬舎)  
「事件記者」「事件記者2」「事件記者3」(幻冬舎文庫)  
「ささやかな少数意見」(マガジンハウス)  
「サラリーマンの忘れ物」( )  
「開け心が窓ならば」(解放出版社)  
「警察が危ない」(朝日ソノラマ)  
「新聞記者が危ない」( )  
「春美16歳の日本」( )

2016年11月現在